

1日1本、3日で3枚

天候のこととはいえ、ちまたの野菜不足、野菜高騰のこの時に、「野の扉」の野菜がお役にたえず、ふがいなく思っています。今日23日現在、10日たっても畑の積雪は平均20cm程度、ウネ間はまだ30cm近いところもあります。今週は気温の上昇が見込めるとのことで、雪解けは進みます。しかし同時に畑のぬかるみはひどくなるでしょう。

先週、とりあえず2週間のお休みを判断した時は、どうかと思われたのですが、そんなに間違えてはいなかったようです。

毎日除雪していますが、道の確保、住まいや倉庫の屋根の雪降し、ハウスの換気確保、春野菜のトンネルの救出作業と、1日1歩、1日1本、1日1枚(屋根のトタン外し)、という具合です。

合間に、半壊の鶏舎1棟を建て直し、全壊の鶏舎から鶏を救出、移動することができました。全体的には、2、3年かけて片付け、より良い形で再建をしたいと思っています。



野菜セット出荷を3月から再開します

さて、野菜の配達、宅配便は、3月3日(宅配便到着は4日)より再開します。野菜がそろわず、減量・値引きセットもあると思われます。

また今春は、時に、パン(うちの小麦を主原料に、息子が焼いた、「ノラのパン」のカンパーニュ)や卵(3~4ヶ)をセットの一品とさせていただきたいと思います。勝手なお願いとなります。皆様のご都合、ご意見をどうか遠慮なく申し出てください。なにとぞよろしくお願いいたします。(晃)

少しずつ少しずつ

2週間、というわずいぶん時間をいただいた気がしていたのですが、今は昔・・・

この間、糶を2回仕込んで、味噌を大タル2つ仕込みました。野菜セットのピンチヒッターにもなってくれる、来年への大切な準備ができました。半分雪に埋まった白菜を掘り出して、お日様に干してから漬けました。

畑にも、懐かしい土の色が見えてきました。「ノラのパン」の息子一家が総出で？蒔いた小麦も、前回の2月8日の雪以来3週間以上雪の下だったので全滅も覚悟していましたが、少しずつ顔を出して、色を取戻し、伸びをしています。そして今日(26日)は、早く雪を解かすために、燻炭(モミガラを燻製したもの。遠赤外線効果で、融雪する)を撒いて準備しておいた畝に、待たせてあったキャベツやレタスの苗を植えることができました。

寄居町の町長も、東日本大震災に匹敵する被害だ、と言っていました。確かに、自分たちが20年少しずつ積み上げたものをたくさん失いましたが、雪が融ければ、畑は戻ってきます。お客様には、お見舞いの言葉などたくさんいただき、感謝しています。私たちは大丈夫です。

宅配便の送料値上げについては、この雪害の中、近隣の仲間と一緒に、他の業者の話も聞きながら、最善の選択のために検討を重ねています。4月からの送料改定は避けられませんが、この件は決着次第ご連絡いたします。(泰子)

